

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	教育施設小委員会	主 査 名：飯野秋成 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境設計運営委員会)	委員長名：井上勝夫 主 査 名：飯野秋成
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	小学校～大学の講義室および付属施設における熱・光・空気・音環境について、その先端研究のリサーチを進めるとともに、教育施設における環境のあり方を議論することを目的として設置する。今後の教育施設環境の研究の方向性を議論するとともに、議論の内容をホームページおよび出版という形で積極的に情報公開していく。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査 飯野 秋成 新潟工科大学 工学部 建築学科 幹事 塚本 健二 新潟工科大学 工学部 建築学科 委員 飯野 由香利 新潟青陵大学 岩下 剛 武蔵工業大学 工学部 建築学科 生沼 哲 電源開発株式会社 北山 広樹 九州産業大学 工学部 建築学科 小林 茂雄 武蔵工業大学 工学部 建築学科 菅原 正則 宮城教育大学 教育学部 高橋 央 (財) ベターリビング 筑波建築試験センター 寺嶋 修康 株式会社 アルコム	
設置 WG (WG 名：目的)		
2007 年度予算	120000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s2/educationWG/framepage.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
対外的意見表明・パブリックコメント等	「伝えたいメッセージ」に基づき、委員会内の情報共有を図った。また書籍作成のための打ち合わせを、出版社を交えて議論した。ただしシンポジウムの開催には至らなかった。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	委員による「伝えたいメッセージ」を充実させ、書籍作成の基本方針を打ち出した。(40%)
委員会活動の問題点・課題	「伝えたいメッセージ」の内容を書籍としてブラッシュアップするため、Web 公開することを検討した。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	C
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>I. 「伝えたいメッセージ」の発信</p> <p>学校環境のあるべき姿について、各委員の主張・提案を同一フォーマットで執筆して収集した。これらはすべて、各委員の研究成果に基づくものであり、その出典と主な図表を併記したものとなっている。これらを委員会内で共有することにより、小委員会による情報発信の方向性の議論を進めた。</p> <p>これらの主張・提案の中には、小中学校のカリキュラムとの連動を視野に入れた動きなどもあり、現場の声を拾い上げる方法論を模索したが、シンポジウムの開催などの具体的な活動に結び付かなかったところは反省点として残る。</p> <p>さらに、学校環境を考慮した事例、特に草の根的に実施されている様々な活動を集約した書籍をつくるという落としどころを見出すにいたったが、その後委員会の活動が諸事情により滞り、具体案の作成に至らなかった。</p> <p>II. 書籍づくりの具体的な活動スケジュールについて</p> <p>書式、および出版社との調整に関する具体的なスケジュールリングに関する打ち合わせ会を開催した。出版経験のある委員による意見を踏まえ、当委員会の出版物の作成に向けて考慮すべき問題を整理できた。</p> <p>以上の通り、今年度は出版物作成のための方針づくりを進めることができたが、出版物そのものの具体化にたどり着いていないことから評価を「C」とした。現体制で委員会活動を続けることに難しさもあることから、一度活動を打ち切ることとし、再開のめどがたった時点で再度立ち上げることとした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。